

2025 年度 東海大学付属静岡翔洋高等学校中等部 第 77 回 入学式

校長告辞

ただいま入学を許可されました中等部 164 名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。そして、保護者の皆様、お子様のご入学心よりお祝い申し上げます。本日は P T A 会長稲葉真貴様始め多数のご来賓のご臨席を賜り、第 77 回入学式を挙行できますこと、大変喜ばしく思っております。

皆さんは近くの公立中学校ではなく、距離的には遠い本校を選んでくれました。早い人では小学校 3 年生くらいから本校のオープンキャンパスに参加してくれたと思います。皆さんが一生懸命私の話しや学校の説明、試験問題の解説を聞いてくれたこと、とても印象に残っています。試験を突破し入学するために、必死に学校とは違う勉強、いわゆる受験勉強に取り組んだことと思います。時には、勉強がつらくて投げ出しそうになったり、9 月に行われたそっくり入試では思うような点数を取れず悩み焦ったり、勉強を怠けてゲームについつい手を出して、「あなたが行きたいというからお父さんお母さんは応援しているのに、行きたくないのならもうやめなさい」とお母さんに叱られ、涙を流して落ち込んだり。

しかし、皆さんは受験というプレッシャーに打ち勝ち、今日ここにいます。晴れの入学式に出席しています。どうかその自分の努力に誇りと自信を持ってください。そして、その経験を今後の中学校生活に生かしてほしいのです。希望や夢を手にするということは、額に汗し、心に汗し、心折れそうな自分と闘うことなのだとすることを皆さんは身をもって学んだのです。

近くの中学校ではない距離的には遠い静岡翔洋。通学時間の長さは皆さんには考える時間が多く与えられたということです。鞆の重さは体力をつけるための鍛錬でしょう。しかし、3 年後には人より多くの汗をかいた分、気力も、体力も、精神力も日本一の中学生になっていると私は信じています。

そして、ここで皆さんはもう一度気持ちを新たにしてお考えなければならないことがあるのです。それは、なぜ皆さんは本校を選んだのかということです。そこには本校を選ぶ明確な意思と理由、求めるものがあつたからではないでしょうか。静岡翔洋であるなら自分の夢や希望を実現できるのではないか、あるいは今は漠然としていて、はっきりと見えなくても、何か自分の将来の夢、やりたいことを見つけることができるのではないか、そう考えて選んだのだと私は思います。

新入生の皆さん。皆さんが来校されたオープンキャンパスや学校説明会で私が言った言葉を覚えているでしょうか。「翔洋に来て自分探しの旅に出てほしい」と言いました。静岡翔洋に来て勉強や部活動に汗をかいてほしい。それはどうしてか。それは、自分探しの旅に出るためである。自分とは何か、自分は何ができるのか、何をしたいのか、どんな夢や希望に向かって中学時代を送りたいのか、あるいは今抱えている夢や希望をどのようにすれば手にすることができるか。

そして、自分は将来、この社会の中のどの分野でどんな役割を担っていけば充実した人生を送ること

ができ、また、人々の平和のために貢献できるのか、それらのことを探すために静岡翔洋で青春の汗を流すのだと思います。皆さんがこの世に生を受けた理由が必ずあるはずです。「自分探しの旅に出る」ために多くの出会いとたくさんの経験をしてほしいと願います。

残念ながら公立の中学校は大切なものを手放してしまおうとしています。それは部活動です。部活動が目指すものは単に競技力の向上や勝ち負けではありません。友人を作る機会でもあり、友情をはぐくむ場でもあります。一つの目標に向かってみんなで汗をかき、頑張り、励まし合って進んでいく、その過程で自分の成長を実感していく、そういう場でもあるのです。もちろん部活動に入らないという選択肢もありますが、静岡翔洋は部活動だけではなく、色々な場面、グループでクラスで、学年で学校で取り組む行事を大切にしています。

人は集団の中で人と人と関わりながら成長していくものであると私たちは信じているからです。

今、1000日の旅の合図が鳴りました。ゴールは当然はるか遠くにあり、まだ見えるはずもありません。皆さんのまなざしの向こうには大きな夢や希望、あるいはあこがれと呼べるものが横たわっているはずです。皆さんはどうやったらそれをつかむことができるのか、知っているはずです。みなさんならやれるはずです、できるはずです。

手のひらには一つのものしか握れません。スマホやゲームをその手から離して、本を鉛筆をノートを手にし、そして、身体に汗をかく日々を送ってください。みなさんには「頭にも、心にも身体にも汗かく青春」を送ってほしいのです。1000日の旅が終わるとき希望というものを手に握りしめ、笑顔で新たなステージへと進んでいく皆さんの姿が私にははっきりと見えます。若さは美しい、可能性に満ちています。色々なことに挑戦できる、そしてたくさんの時間があります。どうか若さの特権を楽しんでください。

満開の桜、碧く光る太平洋そして秀麗富士がみなさんの門出をお祝いしています。1000日のドラマは今、スタートしました。人生で一番短い3年間、青春って忙しい、夢中って無敵。約束された1000日の日々をかけがえのない青春の日々を悔いなく駆け抜けてほしい。素晴らしい学校生活となることを、祈念いたしまして「告辞」といたします。入学おめでとう。